

9．通信メディア利用をめぐるグループインタビュー結果

9.1はじめに

通信メディアは具体的にはどのような人間関係の中で使われ、身のまわりのコミュニケーションにどのような影響を与えてきたのかを知るために、アンケート調査と同時に、グループインタビューを行い、その具体像をとらえることにした。身の回りのコミュニケーションでもとくに家族を中心にして、友人関係などを含めメディアとの関わりを明らかにしようとした。対象とするメディアは携帯電話、一般電話、パソコン、（一部テレビ）である。

回答者は家族との関係を見ると言う意味から 55-65才既婚の携帯電話利用者 60歳以上既婚のパソコン利用者 家族と同居している20代女性のパソコン・携帯電話所有者 20代男性のパソコン・携帯電話所有者、の4つのグループにしばった。調査会社に依頼し、モニターの知り合いなどから該当する回答者を各グループ3人ずつ集めた。回答者はこれまでこの種の被調査経験はなく、いずれも首都圏に在住していた。調査時期は1999年2月で、都内会議室において各グループ2時間程度の聞き取りをおこなった。

その結果をまとめると次のようになる。

9.2 携帯電話の影響

人間関係において影響の全くないという人と、影響があったという人に分かれている。影響のない人には50代の男性S氏や50代や女性I氏のように年齢が高く私的利用頻度が少ない人である。これはやはり5章で見たように、年齢と私的利用頻度によって差が出ているものと考えられる。影響があった人では人間関係が活発になることが多いようだ。たとえば、別居の娘とのコミュニケーションが頻繁になった（50代女性）。友人とのコミュニケーションが増えた（20代男性）。妻とのコミュニケーションが増えた（20代男性）。「帰るコール」をするようになった（20代男性）。その理由は人間関係が常態化し、いつでも気軽等コミュニケーションできることにある。たとえば、その場で友達を呼びだして、軽いノリで会うことが多くなった（20代女性）。家の近くにいったときに気軽に電話するようになった（20代女性）。約束の仕方がルーズになった（20代女性）。などである。また行動が自由になることも多かった。例えば、電話待ちで拘束されることが無くなった（20代男性）、など。中でも今まで拘束されている度合いが高い女性のばあい自由になるという度合いが高いようだ。たとえば、年寄りを家に置いて外出することが多くなった（50代女性）、親からの干渉が減り、夜中に外出しやすくなった（20代女性）、など。

しかし興味深いことは置かれた状況によって効果が逆に出ることがあることだ。例えば、今まで門限のきつかった20代の女性は、携帯電話でいつでも連絡がつくことで門限がゆるみ、夜間行動が自由になった。しかし逆に、友人と飲んでいても妻から電話がかかってきて、妻からの束縛を感じるようになったという20代の男性もいた。その人の状況によって携帯話が束縛のメディアとなったり自由のメディアになったりするのである。あるいは家族の人間関係にしても妻とのコミュニケーションが増えたという20代男性が居る一方、義父（50代女性）や親（20代女性）との関係は離れ気味

になった感じがする。

またコミュニケーションが活発化するにつれ、選択化の傾向もみられる。例としては、飲み会の誘いが多くなり、出席する会を選択するようになったという20代男性や、誰からかかっているかをチェックする50代女性のケースなどが挙げられる。

9.3 一般電話と人間関係

一般電話については対面接触との関係をたずねた。8章でもわかったとおり、インタビューからも電話と対面接触がセットになっていることがわかった。20代の男性(I)や60代の男性(O)は電子メールでは会わないけれどコミュニケーションをとる人が居るが、電話ではたいてい会う人やりとりするという。60代のI氏は電話では気兼ねがあるからよく会う人でないとしにくいという。その一方で滅多に会わないけれどよく電話する人は、学校自体の友達や転勤で離ればなれになった昔の友達などが挙げられていた。いずれもかつてはよく会っていた親しい間柄で、電話がそうした関係を維持しているようである。

9.4 パソコンの家庭への導入過程

パソコンの家庭への導入に関しては、ゲームというのが、きっかけとしてはかなり一般的であることがわかった。むしろ、最初はこれといった使い道はないが、とりあえずゲームぐらいできるので面白そうだ、という非常に消極的な導入過程として「ゲーム」があることがうかがえる。このような場合、購入するのではなく、他人(20代男性)や会社のお下がり(20代女性;U)という形で中古品を導入するという形式が付随してみられている。目的意識を持って導入する場合も、あくまで既存のワープロの代用として年賀状を作成する(60代女性)などといった形で、パソコンであることの積極的な理由はみられない。ただし、かなり専門的な知識をもつ人(60代男性;G、20代男性;Jなど)は、逆にゲームはゲームとして専門的に入る動機にはなっているようではある。しかしながら、この場合も利用動機としてはその後もそれほど継続しているわけではない。

その一方で、あくまで家庭での利用という意味では、それを継続させる動機に欠ける部分が多いようである。仕事の持ち帰りを挙げる人はいたが(20代男性;T・20代女性;A)、実際の利用としてはそれほど頻繁ではなく、「パソコンをいじっても、何を作るか、やることが浮かばない」(20代女性;U)という状況が展開しているように思われる。確かに、メールというのはインセンティブが大きく、日常的にパソコンを利用する契機となっている(20代男性;K・20代女性;A)といえるが、全く会社だけで個人的な用途に利用できるようになるとパソコン自体を使わなくなる(20代女性;I)など、ここにおいても、あくまで家庭に「パソコン」を置くということの意義は、やはり見出しにくいものになっていると思われる。このことは、近年メール機能だけを持った携帯電話や電子手帳などが一方でかなり大きな普及を見せていることからしても、パソコン普及を考える上で興味深い点である。

なお、今回の目的として、テレビの導入過程とパソコンのそれを比較するために、テレビの導入

過程についてもたずねたが、回答者が当時の状況を想起できず、やはり「3種の神器」としての大量的・画一的な普及以上のことを聞き出すことはできなかった。

9.5 パソコンと人間関係

まず、家族との関係では、家族が共同してパソコンを利用するという利用内容と機会というものがなく、むしろ自室に閉じこもって没頭する分、他の家族との生活時間のズレなども生じ、他の家族が何をしているのかが分からなくなっているという現象が見られた（60代男性；G、60代女性；K、20代男性；J）。また、パソコンをやっている人が、家族内にパソコンの利用を伝達するという「普及の流れ」のような過程はほとんど見られず、他に使っている人がいる場合でも、その利用に干渉するということは徹底的に回避されているようである。この意味では、家庭におけるパソコンは「パーソナルメディア」としての性格が非常に強いといえる。

しかしながら、このことは多少パソコンが設置している場所にも依存しているようである。家族共用のパソコンが居間にある20代女性（A）の場合は、家族の会話の中にパソコンが登場することが多くなり、トラブルなどを共同で解決するという機会も多いと答えていた。こうしたトラブルを介してコミュニケーションが行われるという例はほかにもあり（60代女性；K）、パソコン自体が話題の中心であるというよりは、パソコンのトラブル解消の手段として家族および家族の持つ人間関係の存在が意識されているようである。

家族外との関係においても、パーソナルな傾向は強く、パソコンを話題として他人と話をすることは、むしろ「断層」（60代男性；G）として意識されているようである。これについても「普及の流れ」というものは見られていない。しかしながら、トラブルシューターとしての友人の存在は大きく、コミュニケーションによるトラブルの克服が利用継続のカギとなっているようである（20代女性；A）。

逆に、人間関係をつなぐ手段としてパソコンの利用（メール）を見た場合、それはさまざまな形式で活発に利用されていることがうかがえる。まず、家族内の関係では、結婚等で別居する状態になった家族とのコミュニケーションがメールによってある程度保持されているという現象がみられた（60代男性；O、20代男性；T）。

家族外との関係については、メールだけで保持されるという傾向は強く、今までは連絡をしなかったような人や、連絡を躊躇するような場合でもメールで連絡をとりあう、という、年賀状のようで年賀状よりはやや頻繁なやりとりが見られている。このことは海外にいる人との連絡などについて、かなり意識されているようである。

本調査の一部は、札幌学院大学研究促進奨励金（SGU98950712）の助成によっている。

グループインタビュー 資料

55～65才既婚者 携帯電話利用者

H - 女性 無職 義父・長女・次女と同居、夫と別居、携帯電話は94年から利用

S - 男性 貿易業 妻・次女と同居、長女・長男と別居、携帯電話は98年から利用
I - 女性 主婦 夫・長女・娘婿・孫二人と同居、携帯電話は95年から利用

< 携帯電話 >

○ 持つようになったきっかけは？

S - 3 年ほど前に 1 度持ったが、ほとんど使いませんでした。最近子供などがみんなが使うようになって、逆にないために呼び出せないということで、やむをえず去年の 1 2 月から持ちだしました。

I - 3 年ちょっと前から持っています。高齢の父が居て、束縛されるので、出先から電話して父の元気な声を確認する、というのがきっかけです。そのあと、よく車で旅行するので、旅先から家族に現在位置を連絡するために使っています。それから嫁ぎ先の娘に携帯同士でということもあります。

H - 6 年ほど前、まだ私が働いているときに、兄が実家から上京するときに私に電話しても、ぜんぜん捕まらないので、兄が持ってくれと言って、買ってくれました。それがきっかけですが、父が高齢で心配なので、そのまま持っています。娘たちもけっこう夜に散歩するので、何かあったら電話するようにということで、みんな持っています。使い始めると便利なもので、手放せなくなりました。

○ 普段の利用方法は？

S - 家族との連絡と、仕事上事務所の外にいるときの連絡に使っています。利用頻度は 1 日 3 回ぐらいで、仕事の着信が多いです。家族とは急ぎの時以外はあまり使わないです。近くに住む嫁ぎ先の娘と連絡したりします。待ち合わせの時に連絡がとりにくいときなどに。

I - 家族との連絡に使っていて、発信のほうが多いです。頻度は 1 日 1 回くらいです。自宅にすることが多いので、自宅の電話を使うことが多いです。車の中からの使用がけっこう多いです。主人と日本列島岬巡りと題して、よく旅行に行くもので。そのときに旅館に予約確認の電話を入れたりすることもありますね。いまどの辺だとか、いつ帰るとか。都内では買い物に言ったときに、孫から買い物の用事を連絡するためかかってきたりします。自宅から、何を買ってきてとか。嫁いだ次女からはこちらの家に来るときなどに向こうからかかって来ることが多いです。料金がかかるので用件だけにしています。

H - 食事などで外出することが多い。そのときの誘いにかかってきます。また仕事をしている友達にかけるときに職場の電話にはかけにくいので、直接彼女らの携帯にかけます。携帯同士だと安いというので、用件だけを短く。娘たちから何時に帰るという連絡が毎日かかります。父を 1 人にしていると不安なものですから。利用頻度は毎日 5 , 6 回は使います。受けることが多いです。いつも電源を入れていて、家庭でもエプロンのポケットに入れて持ち歩いています。

○ 携帯電話導入後、家族とのコミュニケーションに変化はありましたか？

S - 家族との待ち合わせの時にお互いに持っている则安心感があり、便利にはなりました。

仕事のとき都合の悪いようなときにはバイブレーションにしておきます。携帯で出かける機会が増えたというようなことはありません。「帰るコール」もしますが、それは以前からやっていました。

I - あまり頻繁に使わないので、家族のコミュニケーションが変わったというようなことはあまりありませんね。ただ、次女とは気持ちの上ではいつでも連絡が取れるという感じはあります。でもそれによって今までしなかったちょっとしたことを連絡するようになったという変化はありません。

H - 娘たちとコミュニケーションがよくなりました。早く帰れるから食事をしないか、とか、今ここにいるけど何かかって帰るか、などよくかかってくるようになりました。家の電話は親子電話なので、おじいちゃんを置いて遊びに出てこいとは言いにくいせいか、今まではあまりそういう電話はかかってこなかったです。それから手帳代わりに携帯を使っていますね。便利なので手放せないです。ただ、音声が悪いんで長話はできませんね。それから、外出先からすぐ電話できるので、おじいさんを家に残しての外出はしやすくなりました。

○家族以外の人間関係の変化はありましたか？

S - 家族以外の人間関係も別に変化はありません。

I - 別にかわりはありません。

S - 仕事をしていたときの知り合いからかかってきます。携帯がもしなかったら、そういう人たちとは疎遠となったかもしれません。私が家にいることが少ないので、携帯にかかってくることが多いです。相手の電話番号を登録しているので、誰からかかってきたかというのが全部わかるので、これは重要とか、いまは忙しいとか、チェックできるのも便利です。ただ相手によって出ない、というようなことはありません。後でゆっくり話した方がいいとか判断するときに使うんです。あと留守電を伝言板のように使っています。

○一般電話との使い分けはしていますか？

S - 別に使い分けは全くありません。両方とも連絡ですから。携帯の番号は親しい人だけに教えているということはあるんですが。

I - 携帯は用件だけです。自宅の電話ではおしゃべりもします。

H - 自宅の電話だと長話です。携帯だと短い。昔の職場から相談の電話が携帯にかかってくると、そういう電話は長くなるので、急ぎかどうかを確認して、急ぎでない場合は後で自宅の電話からかけ直したりします。自宅にいる場合は自宅にかけ直してもらう。携帯だと切れたりして感度が悪いんで。

<一般電話>

○一般電話が家に入ってきた時どのような感じでしたか？

H - 廊下に板張りのがありました。ラッパのようなのが付いていて。事業やっていたので子供のころからありました。交換手に呼びかけるようなもの。昭和25, 6年ごろ。

S - 家に電話が来たのは戦後まもなく昭和23, 4年ですかね。小学校4, 5年生。当時のことはあまり覚えていませんね。そんなに使っているようでもなかったですけど。友達とかけるということなかったです。

I - 実家が京都で事業をしていたので、終戦前からあったようです。大人は使っていたようですが、子供は使いませんでした。結婚してすぐは三重県で、社宅には電話がありませんから、借り電話でした。昭和28、9年に昭島に転勤して、電話が入りました。

H - 小学生の頃から廊下に踏み台を置いて、かかってきたらすぐ出ていました。父の仕事の電話でもかかってくるとうれしくて。かけた記憶はありません。近所からも借りにきていました。

○電話はするがあまり会わない人はいますか？

S - そういう人います。小学校のクラス会の連絡、そのときに近況報告なんかもする事もあります。

I - 同級生ですね。同窓会で、滅多に出ない人とお話。転勤したのでそのときの知り合いとたまにします。それから母のいところが東京周辺に居るので、そういう方と長電話をすることがあります。

H - 電話で話す人とはほとんどよく会うので、あまり居ません。同窓会の連絡の時に、いつも出席しない人とは長話になったりします。

<テレビ>

○テレビをはじめて入れた時の様子はどのようなでしたか？

I - 昭和30年くらい。部屋を暗くしてみている人が多かったです。夜は電気を消して。

S - 昭和32年くらいです。時間を拘束されて。必要でないのに見てしまっ。

H - 昭和32、3年ころです。もの珍しさがあって家族がなんとなく集まっていた。すぐに外に出ていた兄なども家にいて、祖母も家にいました。

○当時のテレビの見方は？

S - 何かを食べながらというのではなく、真剣に見ていた。片手間では見てなかった。映画をみるような感じでした。

I - 部屋を暗くしていたのは、近所の人もみなやっていました。後で目が悪くなるということで変えました。京都の街で、外からテレビだけがついているのが見えました。

H - 映画館のような感覚でした。近所の人が集まって整然と並んでみたような記憶があります。暗くしていた記憶はないです。入ったときは凄かった、びっくりしたという記憶です。怖くて触らせてもらえませんでした。兄が触らないとスイッチも入れられない。

○当時のテレビの設置場所は？

H - 家の中の応接間 和室で床の間のあるところ。食堂ではなくて客間でした。

I - 食事はしないが現代のようなところにおいていました。横座りしてみられるような。

○テレビで家族の団らんは増えましたか？

I - 増えていたと思う

S - みんながそこに集まるという意味ではね。

H - 今ほど番組が続いてなかったです。気がついたらみんながいたという感じです。子供が小さいときはずっと ブーフーウーとか。 そのころはテレビが1台しかなかったから。

○テレビを持つとはどのようなことでしたか？

I - 京都の街から鈴鹿の田舎に行ったので、それしか情報がなかったです。

S - 非常に高いものだった 昭和28年に30万円くらい 初任給が1万2千円くらいだったので、30倍くらい。そのあとどんどん下がったけど、普通の家庭は買えなかったです。だから電気屋さんが公園などで皆が集まっている中でプロレスを見るという状態になっていました。30万円にびっくりして覚えていました。

○集まってテレビを見ることはありましたか？

S - 大きなイベントのときはみんなが集まったが、ふだんは...

H - テレビが来る前から付き合いがあったのではなく、近所の人でテレビが来たときにみんなが来るようになりました。それまでは口もあまりきいたことがなかったが付き合いができたような気がします。

I - ほとんど記憶はありません。

S - 地域によって違うと思います。 気軽にものを貸し借りできる場所ではあったかも知れないけれど。私の場合、人の家に行くのは抵抗がありました。どうしてもみたいときは電気屋さんとかでみんなと見ました。それで仲良くなったということではありません。

○テレビが入ってきて父親の威厳は変化しましたか？

S - もともと戦前の場合は父は強かったです。チャンネル権などでも。

H - 父が見ていたという記憶はあまりありません。兄がよく見ていました。

I - 家庭をもってから、子供が小さいときは子供が優先でした。

S - テレビがあると会話がなくなります。食べながら見てしまうので、会話が少なくなります。

H - うちでは、食べながらしゃべってはいけなかったです。テレビをみてもしゃべってない。だからテレビがあったから会話が減ったとはいえません。

I - 子供ができてからは皆で食べることはしていました。

H - 実家では父親と違うお膳で食べていました。子供は別 食べているものにも差がありました。

60才以上既婚者 パソコン利用者

G - 男性 電気器製造 妻・長男・次男と同居 パソコン1975年家庭に導入
O - 男性 商事会社 妻と同居、長女・次女と別居 パソコン1989年家庭に導入
K - 女性 主婦 夫・次男・長女と同居、長男と別居 パソコン1989年家庭に導入

< 電話 >

○ 電話導入のときの模様は？

G - 入ったのは結婚してからですね。私や女房の実家とのやりとりをしようと思って。「元気か」とか、お袋と話していました。でも通話料を気にして長話はしてなかったとおもいます。

O - 入れたのは昭和40年代だと思います。半年待ちで。だれとどんな話していたのかは記憶にないです。

K - 実家は昭和20年代の後半にはありまして、近所の人々が珍しがって見に来ていました。私は小学校ぐらいですから、ほとんど使うことはなかったです。結婚してから主人の親と同居だったのですが、その電話を必要最小限で使っていました。昭和47年頃に家を建て替えて自宅ができて、そのときに電話を入れました。子供の学校の親御さんたちと、連絡網で。そのときに愚痴なんかも話していたんじゃないですか。

○ 電話導入後の変化はありますか？

G - あまり覚えていません。実家とのやりとりが密になったということはあると思いますが。

O - 緊急連絡はそれまでは電報だったんで、電話になって交流は少しは増えたんだとは思いますがね。記憶に残るほどではありません。

K - 変化はあったと思います。旅行とか頻繁に出かけられる状況ではありませんでしたから、そのぶん電話遠い人たちと電話ですましていました。実家にもほとんど帰らないからほとんど電話ですね。実家の時の昔の友人とも電話でやりとりして。手紙は書かなくなりました。

○ あまり会わないが電話だけでつきあう人はいますか

G - 全然あわないと言う人は居ませんね。半年に1回ぐらいは会いますね。

O - 電話は気兼ねがいるのであまりしないです。Eメールは気兼ねがないのでよくするんですが。

K - 実家が新潟で、会社が静岡だったんで、そういう人たちがほとんどですね。ほとんど会えないんで全部電話ですね。学校時代の同級生とか親しい人とはよく電話しますね。それから転勤していった近所の主婦とか。そういう人は十数人以上居ますね。年賀状以外は全部電話ですね。電話はほとんど毎日しています。

< パソコン >

○ 家の導入のきっかけは？

G - ゲームをするためにアップル社製をキットから作りました。パソコンの勉強を会社でやっていたのを家でもやってみたかったんです。2年くらい前から家族も利用しはじめました。設定を別にしたいので個別に使っています。

O - エスペラント語用のタイプライターから買い換えました。MSXをワープロで利用してます。ヤマハのプリンタ・ワープロソフトを。会報や手紙などの文書作成や年賀状にも利用してます。次女が

興味をもってプログラムなどを手伝っています。プログラムは独習しました。会社でポケコンを使っていたので環境はなくてはなかったです。後から通信機能が発達してきたので電子メールを利用しました。利用は1日5、6通です。2年くらい前から長女に教えてます。次女は学校や会社で習いました。現在家族で電子メールをしています。妻にも電子メールを教えて、家庭と会社でやっています。

K - 息子が情報処理の学校で、専用のものを買いました。私はワープロを使っていたんですが、壊れたので夫と息子それぞれ買い換えました。年賀状は10年くらい前からワープロで書いています。住所録などは夫がやってくれています。私は宛名書きだけ。家計簿もやろうとしたが、できませんでした。現在は年賀状は全自動化して、文や絵を選んで夫にやってもらいます。

○パソコンの日常の使い方は？

G - 毎日使っていません。何かをやりだしたら3時間くらいはやっています。県人会の事務局をやっているの、資料づくりや文書・チラシ作成などが多いです。幹事交代などのやりとりもあるので、電子メールも考えているが、実現していません。電子メールは毎日モニタしてないといけないので、使いません。ワープロ機能の利用が90%です。インターネットの機能はあるけど、まだISDNを引っ張っていないので、回線障害を起こします。息子の利用が多いんです。インターネットは特許関係の仕事で使っているの、家庭での必要は感じていません。一度やり始めると全部終わるまでかかるので、遅くなることが多いです。

O - 会社では昼休みメールをやっています。エスペラントの会報や教材を作ったり、電子メールのチェック、インターネットでエスペラント関係のを見たりします。家では平均一時間くらい 土日は半日くらいかけています。エスペラントに関するホームページを二、三ヵ月前から作成してます。土日は更改で忙しいです。メールは1日5通くらい。エスペラント関係の会議をメーリングリストでやっています。（1日2通くらい） ネットサーフィン1時間くらいです。時間帯としては11時過ぎると「テレホーダイ」が使える時間らしく、全然使えなくなるので、それまでにやるようにしています。娘が電話をよく使うので、別にFAXとコンピュータ用に2回線引いています。

K - 卓球の試合に行くときに「駅すばあと」を使うくらいで、普段は使いません。たまに挨拶状をするくらいで12月と1月の年賀状。メールはやってみようとも思いません。面白いけどやったらハマっちゃいそうで。他のことでも忙しいし。

○家族関係の変化はありますか？

G - 個人個人が何をやっているか、個人に情報が入っているのでわからなくなりました。どういう人とどう付き合っているかが見えなくなる感じがします。こういう状態が続くと家族の関係が変わってくるのではないのでしょうか。息子は仕事でメールをやっているけど、いつでもインターネットができる機材がそろっているらしい。時々つながっぱなしにされるし、いないときに使われる。仕事を補うために使っているらしいです。一時は家で相当やっていました。一番影響が大きいのは電話です。家族が一人一人持っています。ですから回線をめぐるいざこざがあります。外からかけられると迷惑

です。ISDNを入れないといけないと思います。パソコンについてあまり話すことはありません。レベルが違ってきているので。自分の年代だとしていけない感じがします。妻はパソコンはやりません。ちょっとイレギュラーなことがあるとダメです。寝る時間がやはり減っていると思います。自室にこもる時間も長くなりました。個人の生活に向かう方向になっているようです。

O - 今、家族四人でコンタクトがとれるのは電子メールのおかげです。向こうから絶対電話はしないし、こちらからかけても、いない。携帯だと遠慮するし、FAXも普通はしません。電子メールだとほとんど必ず返事が来きます。1週間に2,3回はあります。妻がパソコンをはじめたのも子供が電子メールでしか連絡しなくなったので始めたのが真相だと思います。話す内容は、長女とは家庭的なこと、次女は会社で使っています。会社では開きっぱなしなのですぐに返事が返ってきます。コンピュータのことや個人的なこと「最近変わったことない？」などです。今まで家では話さなかったことを話している感じがします。家にいたときは帰りがバラバラで、食事と一緒にしない朝も。子供がいた2階の部屋にパソコンがありましたが、夏は暑く冬寒いので最近移しまして、今はすぐ横にあります。前はメールを使うのにも気合いが必要でした。いまは使う機会も増えました。妻は3.1のシンクパッドを使っています。私のを使ってもいいが混乱するので。エスペラントのフォントが入っているのでそれで手紙を書いたりしています。パソコンを通じて、妻と話すことは多くなりました。使っている時間は別々で、睡眠時間は若干短くなったかも知れません。テレビも見ながらやっているが、集中してみる時間は減りました。

K - 息子は情報処理の仕事で職場が近いのでよく呼び出されていました。体を壊したので今のところやめて、家で静養しています。そうしたら部屋にこもりっぱなしで昼と夜がひっくりかえっています。電話も全部別のものを持っています。夜一晩中インターネットなどをやって、昼寝は寝ています。食事自分の部屋に持って食べています。

夫も母が使っている部屋が空いたのでそこにパソコンを持って行って使っています。新しいオモチャみたいで、楽しそう。新しいものをいろいろ買っています。聞きに行くと喜んで教えてくれるが、一緒になってやっていたら自分の方が何もできなくなります。パソコンの話題はそんなにしません。娘はわからないとき夫のところで、夫はわからないとき息子に聞いています。夫としてはコミュニケーションが増えたということはあるようです。仕事をしているときは全くコミュニケーションがなかったですから。息子とコミュニケーションが減ったということはありません。今までもそんな感じでした。男の子はそのようなものですから。

○パソコンで家族以外のコミュニケーションに変化はありましたか？

G - コンピュータを教えてもらうために親しくなった人と、コンピュータ関係の話になることが多いけれど、私らの年代ではぜんぜんいじったこともない人もいますよね。そういう人たちと話題の断層というか、話題の範囲がだいぶ限られて来ているという感じがしますね。ゴルフの話題でくっついてくる人がいるように、パソコンの話題でくっついてくる人がいるのは時代の変化だと思いますが。パソコンの話をする人は仕事関係の人が多いです。ネットのどこを見るとか言われて、HPを覗くこ

とが多いです。パソコンのことを聞くのは仕事の同僚が多いです。トラブルの時は面倒をみてもらいます。メーカーの人とはキャッチボールがうまく行かないので、コンピュータをちゃんとやるにはいい友達が必要だと思います。

O - 退職して徳島にいる人や、古くからの友人で大阪にいる人がいますが、そういう人とはメールをよくやりとりします。逆にメールがないと疎遠になってしまいます。交際の範囲が今までは身の回りが中心で、年をとるとメールを持っている人だけと交流という変わり方をしている感じがします。メールは月2, 3回やりとりします。台風などのうかがいや、遊びに行ったりエスペラントをする海外の人とのやりとりです。登録してある人との交流として、ブラジルから日本の学会に参加している人との打ち合わせを、経由地でインターネットでやりながら進めたこともあります。国内での知り合いも増えました。パソコン通信でのフォーラムでよく出てくる人とメールでやりとりします。委員会は今まで集まっていたが、メールだけで委員会を開いたりすることができます。これまで国際委員会は特に大変でしたから。

K - 年代的にパソコンをする人友人がいません。卓球のチームにいるんですが、特に話題にはしません。

<テレビ>

○テレビがはじめて家庭に入った時の様子はどうでしたか？

G - 学生で下宿の時、秋葉原のテレビ商会というのがキットを出していて、それを買ったのが一番最初です。昭和29年頃です。電気関係の仕事をやっていたのでかなり早かったです。下宿の時はテレビのある部屋に人が集まることはありました。プロレスが多かったですね。

O - 結婚したのは昭和37年で、新婚道具で買ったはずですが。実家のときは35年あたりに入りました。そのころは仕事が忙しくてあまり見ていません。結婚するときはテレビをそろえるのは普通なことでした。

K - 独身のとき寮の談話室にあったが見なかったです。結婚したときは三種の神器として買って、半年で夫の両親と同居しました。向こうもテレビを持っていたので、2台ありました。テレビは結婚してからよく見るようになりました。独身のときは稽古事やレジャーで忙しくて、テレビを見るヒマがなかったですから。

○テレビが家庭に入ってきてどうなりましたか？

G - 子供が小さいときはテレビと一緒に見ることはありました。朝の子供の番組を見ていた記憶はあるが、強烈な印象は残っていません。家は楽しくなったという気はします。

O - 劇的な変化はありません。最初は珍しくて見ていたがあまり見なくなりました。

K - 2台はそれぞれ別に見ていました。食事が終わった後にテレビを見ながら話すということはありませんでした。子育てにおわれてテレビをゆっくり見るということはありませんでした。親がいるとテレビをゆっくり座ってみるというのはありませんでした。両親の来客が多かったので、接待をするのに

追われていましたから。

20代女性 家族と同居 パソコン・携帯電話所有

A - 女性	設計会社員	父・母・弟と同居	パソコン89年から家に導入	携帯98年から
I - 女性	コード会社員	母と同居、姉と別居	パソコン85年から家庭に	携帯97年から
U - 女性	主婦	夫・子供と同居	パソコン97年家庭に導入	携帯96年から

<携帯電話>

○持つようになったきっかけは？

A - 就職してから家から離れがちになったので、家族との連絡用に持つようになりました。出先から親に電話をかけるように言われていたが、店からかけるのは怠りがちで、携帯を持ったらかけなくてもいいよ、ということで。

I - 周りの友人がみんな持っていたので。みんながかけたいときに私がつかまらないということがあって。それから秘書をしているのですが、職業柄持っていた方がよいということでもちました。ボスがいつでも連絡が取れるようにということで。

U - みんな持っているので持ってみようかなと思って持ちました。

○日常の使い方は？

A - 家族からの着信が主体。夜など友人からもかかって来るようになりました。伝言機能を使って掲示板的に使うこともあります。待ち合わせの連絡に使うときもあります。使う頻度は週に2、3回で、着信が9割くらいです。番号を教えているのは会社の人間とそのほかには10人くらいです。内容は用件電話がほとんどで、家族から「夕飯要るの？」とか。あとまちあわせとか。

I - 基本的には着信がメインで、発信は週末とかアフター5だけです。ほとんどプライベートで使っています。自室にも電話が引かれているので、携帯で所在を確認してから、一般電話でかけ直すというような使い方もししています。また夜駅に着いたときに家族に電話する、それから複数の車で出かけたときにはぐれたときになどに使っています。使う頻度は週に5回くらい。

U - 子供の病院に通う時に、予約時間に遅れそうなときに車から電話する時に使っています。公園で子供を遊ばせるときに、仲のいい母親同士で落ち合うときに使います。使う頻度は週に4、5回くらいで、かけるのと受けるのは半々くらいです。

○家族関係の変化はありましたか？

A - 携帯を持って、かわったことはありません。ただ親のほうはいつでも捕まえやすくなったということで、安心しているかもしれません。いままでは行く先々で電話を家にして欲しいと言われていたのですが、それをしなくてもよくなりました。

I - 年齢的なものもあると思いますが、旅行するとき今までは行き先の住所電話番号を書き置きしなくてはならなかったのですが、携帯でいつでもつながるからしなくてよい、ということになりました。

反面些細なことで家族からかかるようにもなりました。でも基本的には家族からの干渉は少なくなったような気がします。そのほか家族関係の変化は感じません。

U - 家族との連絡には使わないので、あってもなくても家族との関わりは変わりません。1 台の携帯を夫と共用しているので、今の時点では取り合いになってます。実家との連絡は母は機械に疎いので、携帯にはかけてきません。

○家族以外のコミュニケーション変化はありましたか？

A - 連絡が付きやすくなったと言われるようになったことと、夜電話するときに遠慮しなくて良くなりました。うちの親は寝るのが早いので、電話かける方が遠慮していたんです。だからといってかかってきたりかけたりする回数が増えたというようなことはありません。公衆電話を探さなくてもよくなったのはいいです。携帯の番号は夜電話する人や会える頻度の多い人たちから教えています。外出頻度が増えたというようなことはないと思いますけど、夜中に従兄弟の家にちょっと行くというようなことをするようにはなりました。携帯を持って親が安心して出してくれるようになりました。それまでは道中が心配とかいって夜中に車で外出させてくれなかった。携帯で生活がかわったというような気はしないけれど、もしなかったらまた(親の)強いしがらみの中で生きて行かなくちゃいけない、と思います。これはとくに弟についてなんですが、親は子供が誰と電話しているかがわからなくなって、子供のつきあいがわからないので心配だ、とぼやいているようです。

I - どこかで飲んでいるときに、フットワークが軽い友達に、「あいつも呼ぼう」ということで気軽に電話するようになり、そういう人とよく会うようになって、友人関係がかわってきました。かるいので会う機会が増えました。テレホンカードを使わなくなりました。約束の仕方がルーズになりました。だいたいの待ち合わせをして、もう携帯に一度かけて細かいところを決めるようになりました。待ち合わせでカリカリしなくてもよくなりました。あと、夜中でも気軽にかけられるようになったりとか、結婚した友達にもその子が必ず出るということで気軽にかけられて、結婚しても関係がかわらないとか、があります。出張に行った友達にも連絡がとれます。連絡を簡単に取るようになりました。行動面では変化はありません。携帯が無かったらかなり不便でしょう。でも私は外出をしない方なので自分がなくなってもあまり困らないが、友人に無いと不便さを感じるでしょう。

U - 結婚した今の生活でははじめから携帯があったので、どう変わったのかあまりわかりません。もしいま携帯がなかったら友達と会う機会が減るかもしれません。友人の家の近くを通りがかったときに、「いま暇かな」という電話をしたりするので。

○携帯と一般電話の違いは？

A - 利用の仕方の違いはあまりありません。コードレスホンを部屋に持って行って長話をしたりしていたので。会社に入って長電話そのものをしなくなったので。使い分けもないです。相手にダイレクトにかけられるようになったので、夜でも思い立ったときにかけられる。そういうときはよく電話するようになったかもしれません。

I - 自分の部屋に電話を引いていたので、携帯の相手との顔ぶれにちがいはないです。携帯も多くの日に電話番号を教えている。携帯電話だと料金を気にして手短にするようにはしています。内容はあまり変わらないです。

U - 家の電話は昔の友達で長電話をします。携帯電話の相手は公園の友達で、長電話はしません。親戚には携帯の番号は教えていません。親には教えてあるけど、急ぎのときしかかけてきません。

< 一般電話 >

○ 普段会わない人で電話する人はいますか？

A 会社に入ってから地方に行ってしまった人。学生時代の友達です。家の電話でします。

I - 地方や、海外に行った友達。会えなくなった人学生時代に良く会っていた友人。家の電話で話すことが多いが携帯だけの人は携帯で話します。

U - そういう人はたくさんいます。学生時代の会社時代の友人。地理的には離れていないけど、忙しくてあえないので。

文字通信はつかいますか？

A - 使いません

I - 使いません

U - 使いません

< パソコン >

○ 家の導入のきっかけは？

A - 1台は家族使用のためで、1台は自分専用。もう1台は父親が家と会社で使っていたが、会社に導入されたため、弟のものになりました。自分のは去年に衝動買いして、最初はEメールをしようというのと、会社の仕事を持って帰ると楽なのと、あとゲームでした。高校の時に父親が使っていたデスクトップで遊んでいた経験があります。その後も家族のためのが何回か買い換える形で続いています。それで自分のが欲しいと思っていて、ノートなら部屋で使えると思って、買いました。主体は自分の遊びで、仕事は補足的です。

I - ノートとデスクトップを1台ずつ持ってます。ノートは父親がもっていたのを使っています。何百人という人の名簿管理をする必要があって、データベースを作る目的で買いました。あとは電子メールを家でやるのも楽しいかな、と。それ以前は父親のを使ってましたが、全くファミコンのようにゲームをするだけでした。

U - 会社をやめるときにちょうど使っていた型のを安く払い下げてもらいました。会社でせっかくおぼえたブラインド・タッチやソフトを忘れなくなかったんです。あと、Eメールで会社にいる友達と連絡をとったりしてます。主人も夜中とかに使ってはいるみたいですが、自分が使いたくて入れたのが主な動機です。

○パソコンの日常の使い方は？

A - 家ではEメールとゲームを少しやるぐらいです。多くても2時間くらいで、忙しいときはやらなかったりもします。部屋に置いているんですが、メールを読み込みで居間のISDNにつなげるために持ち運んでます。インターネットは家族用のでやってますが、メールを保管する場所が分かれなようにメールは自分のパソコンを使ってます。家族用のは競合するので、ふだんは自分のをよく使いますが。インターネットでは情報検索や懸賞をやってます。メールマガジンではニュースや東京ウォーカーにあるような情報を選んでひろってます。これといった趣味はないんですが、何かあったときにそれについての情報を集める感じです。仕事で使うのはよほど急なことでないかぎりしません。会社にはネットにつながったパソコンがまだ入ってません。

I - パソコンが来たてのころは、メールを2, 3時間もやってました。仕事が変わって家にいる時間が減ってしまったので、メールは会社だけでやるようになりました。インターネットはプライベートで使うこともないし、ほとんど今では使ってません。前の職場でEメールを知って、それは共同のアドレスだったので、自分でニフティに入ってやり始めました。半年後くらいして会社で使えるようになり、会社だとタダで時間も気にしなくてよいので、もっぱらそちらになりました。会社では秘書をしているので、連絡などはほとんどメールですし、私用でも使っています。

U - 会社にいたころはEメールをかなり使ってたのですが、いまは時間があまりないのでほとんどさわれない状態です。パソコンをいじっても、何を作るかやることが浮かばないですし。主人も忙しいので気晴らし程度です。

○家族関係の変化はありますか？

A - いちばん最初にパソコンが来たときは、ファミコンの代わりにゲームができる、ということで父が会社からゲーム専用で持ってきてくれました。それで最近まではあまり活発に動いてませんでした。いろいろ使えることがわかってから、大学の時レポートとかをワープロで作ったり、父がゴルフのスコアをパソコンでつけたりするようになりました。昨年ISDNで外とつなげてからはメールなど家族が頻繁に使うようになって、けっこう生活の一部という感じになりました。毎日1時間は誰かが使ってます。弟は大学のレポート、父はゲーム、母が最近メールの楽しみを覚えて、近所の人とメールをやったり、コーラスのグループの名簿を作ったりもしています。母などは全く知らなかったもので、動かないときにいろいろ聞いたりしますし、家族の話題の中に必ずパソコンが登場するようになりました。私と父は分からないときにすぐ聞ける知り合いがいて、父の方が一番よく分かっていると思います。使うときは皆バラバラで、インターネットでも違うものを見ています。家族でわからないことをすぐに調べるようにはなりました。パソコンを使う順番を待つので夜更かしが多くなったということはありません。家族との会話もトラブルなど同じことで頭をつきあわせるので、増えたかも知れません。友達と比べると家族の付き合いは多い感じがします。

I - 一番最初にパソコンが来たときは父が仕事で使う名目だったので、ただのゲーム機と化してまし

た。結局父親の部屋においたので、他の家族は使いませんでした。自分がパソコンをもったときも、特に家族と話すことはありませんでした。父や姉はマックで、私がウインドウズという違いもありました。メールを家で打ってたころは、時間の感覚がなくなって夜更かしをしたり、テレビを見る時間が減ったりしました。自室にこもるので家族との会話も多少減りました。母は98があったころは講習にも行きましたが、いまはやってません。文書打ちは頼まれると私がやります。

U - さわる時間がないので、大きな変化はないのですが、子供にいじられると困るので、子供の知らない場所に置くために納戸のようなところで使っています。せまいので二人で使うこともできないし、使う時間も夜中になったりします。もっと大きくなってわかるようになってから使わせたいと思います。

○パソコンで家族以外のコミュニケーションに変化はありましたか？

A - 自分にパソコンを教えてくれた大学の先輩は、フレックスタイムなどで生活時間が全然違うのですが、メールで相談をすると即答をくれたりするので、役に立っています。実際に機械を使っている中で分からないところが出てくるので、そういう人がいるおかげでパソコンがほこりをかぶらずに済んでいることがあります。大学時代にEメールをやっていた友人とは連絡が復活した、ということがあります。実際に会うこともありましたね。スケジュールを伝えられるので、それで会いやすくなっていることもあります。話すまでもないちょっとしたことや案内は文字で伝える方がやりやすい感じがします。手紙だと出し忘れたりしますし。ふだん会う人とはあまりメールはしません。よほどのことがない限りは、家に持っている人も少ないので。人によって電話かメールを使うが決まるところがあって、その意味で電話のやりとりが減ったところもあります。最初メールをしていたのですが、会うようになってメールを送らなくなった人もいるので、会えない人に手紙の代わりに出すような使い方なんです。電子掲示板とかはやってませんし、メールマガジンも記事を送ってくるものだけです。

I - 海外の友達とかだと、手紙だと勢いがないと出せないのですが、メールだと用件だけでよかったり、タイムラグがないので手紙や国際電話の代わりになりました。手紙より頻繁に簡単に書いたりするので、ある意味では親しくなったかと思います。同報ができるので、いちいちみんなに電話しなくてもよくなって、多数の人に呼びかけることができるようになりました。聞いても忘れてしまうことが残るので、調整もしやすいですし。ささいなことを送ったりとか、相手が開いているときはチャットのような話をしたりもします。相手は親しいけれども会えない人の方が多いです。メールが出来てからは長電話しなくなりましたし。

U - メールは時間がないですし、それよりは相手と話をして情報交換するのが楽しいです。話題を提供するよりも相手からもらうことが多いので、メールだと質問調になって失礼なところもあるかも知れないということで、電話の方がいいですし。メールがあったときにやりとりしていた人と連絡がなくなったことは多くあります。毎日会っている人よりはふだんなかなか会えないような人とメールをやりたいです。

20代男性携帯電話・パソコン利用者

K - アパレル 妻・子と同居 パソコン95年から家庭導入 携帯電話93年から
J - メーカー 父母・弟と同居 パソコン82年から家庭導入 携帯電話95年から
T - 光学機器管理 妻と同居 父母・妹・弟と別居 パソコン98年自宅導入 携帯 96年から

< 携帯電話 >

○購入のきっかけは？

K - はじめは就職活動の時からポケットベルを持っていたのが、会社に入ってから外回りだったので携帯を買いました。

J - 待ち合わせでなかなか会えないときがあって

T - 父が病気で、何か起こったときにすぐ連絡が取れるようにということがきっかけです。

○利用の仕方は？

K - 出かけるときは財布、鍵、携帯というように3種の神器、無くてはならないものですね。会社からの急な連絡を受けるとか、趣味の知り合いとのコミュニケーションの手段とか、家族との連絡に使っています。知り合いとが一番多く、近況とかちょっとしたニュースなど趣味に関するものを、1回あたり1分程度やりとりしています。利用頻度は1日20件以上で、受けるのとかけるのは同じくらいです。

J - ほとんど使わないです。使うのは週に2, 3回程度です。受ける方がやや多い。出歩く方なので友人から、いつ時間が空いているかとか、という内容をやりとりする。長く話すことはないです。友人の家にいるときもすぐ連絡がつく。でも無くてもあまり困らない。

T - 家族に何時に帰るか毎日電話しています。その時何か買ってきてとか話します。あとは友人とのやりとり、会社関係では使いません。待ち合わせがいい加減になった。何時にどの辺というようなことしか決めないようになったです。毎日5 - 10件くらいつかう、用件とか急ぎの用が多い。近況報告などはメールが多いです。

○携帯を持つようになって、家族関係は変化しましたか？

K - 夜遅く帰ることが多いので、帰ったら寝ていてすれ違いと言うことが多かったんですけど、携帯電話で一様毎日コミュニケーションがとれるようになりました。妻とのコミュニケーションが増えました。携帯がないときは3日くらい口をきかないこともありましたね。飯食ったか、とか、歯磨いたかの的なこともありますね。家に帰るなら早く帰りたいので電話している間もないのですが、携帯なら電車の駅とかでできるので連絡取りやすくなったことがあります。携帯を持つまでは「帰るコール」など全くしたことがなかったです。携帯を忘れてきた日は1日中落ち着かない状態で。家族とはかかってくるが多いです。仕事中心もかかってきます。

J - 家族とのコミュニケーションに変化はないです。なるべく家の電話を使っています。

T - 結婚したときはもう持っていたので変化というのはわからない。もしなかったら帰るコールはしなかったとは思いますが。飲みに行っているとき、とかあまり望んでいないときにかかってこないだろうな、とは思いますが。持ったときには家族との連絡を取れるようにしたいということだったんですけど。メリットとデメリットがあるなと思います。

○家族以外の人とのコミュニケーション変化はどうか？

K - 友達とのコミュニケーションが増えました。友達と連絡を取ることが今までは滅多に無かったけど、自発的に連絡を取ることが多くなりました。車で移動することが多いので運転中とかに。そうして友人と会うこともあります。友達の近所を走っているときに「ちょっと会わない」とか。自動車事故の時など緊急事態の相談を受けたことも。父の手術の時も緊急の連絡の手段として活用しました。趣味の車関係の友達はみんな携帯の番号を知っていて、こちら相手番号も知っています。行動面では、電話待ちで外出できないというようなことはなくなりました。

J - 電話待ちのことはなくなって行動の制約が無くなりました。あとは余り変化はありません。会社の車で通勤してるんですが、その途中に携帯が入って、家に一旦帰らずに、そのまま寄れるので便利です。車で出かけるとき携帯があると楽だし、待ち合わせに遅れるとき迷惑が少なくなったかな。

T - 仲間で飲んでるときに、「あいつを呼ぼう」ということが多くなりました。大学のときに持っていたとしたら、飲み会がより頻繁にあったのではないかな。飲み会の誘いが多くなって選択するようになりました。

○一般電話との違いは？

K - 携帯電話では長くないように気をつけています。長くなりそうなときは家からかけるようにしています。かける相手は携帯も家の電話も一緒ですね。

J - 基本的に電話は家でかけるようにしています。携帯は自分持ちだけと、家の電話は親が払うから。携帯では短い用件だけにしています。外にいてどうしてもかけなくてはいけないときだけ、かけます。

T - 電話番号を覚えなくなりました。今までは親しい人の番号は覚えていたんですけど。家の電話をかけるときも携帯をみて、番号を探します。アドレス帳も今は持ち歩かないですね。携帯でかける相手は不通の電話と同じです。

○意識面での違いはありますか？

K - 約束事がルーズになった。遅れてもいいかなとか。約束も何日ぐらいに会おうとか、確定することが無くなりました。

J - 家にいなくなりましたね。出歩いて手も連絡とれるからいいや、というのでしょっちゅう出歩くようになりました。遊びに行くときも親に「どこ行く」とか言わないで行っちゃいますね。帰って留守電聞かなきゃ、という意識はなくなりました。

T - きっかけが父の病気なので、何かあっても連絡があるということである意味で安心感があります

ね。家族から必要以上にかかってくるので、束縛感みたいのはありますね。正直言って。家庭の時間と、会社と、その間の時間がある程度分けたいじゃないですか。まあいい面もあるんでどっちもどっちなんですけど。場合によっては電源を切ったりすることもあります。

< 一般電話 >

○あまり会わないが電話する人はいますか？

K - 家に帰るのが遅いので、携帯がなかったら、あえて電話をしないという相手もいます。向こうの都合がこまめにわかるので短時間でも時間が合えば会う、というチャンスは増えました。普通の電話で電話するけど会わないと言う人はいません。

J - 電話はだいたい会うための連絡で使うことが多いので、電話をする相手とはよくあっています。メールでは会わない人もします。遠くの人とは会えないし、電話代も高いからメールでやりとりするという感覚はあります。そして近くの人とは電話。

T - メールでは、するけど会わないという人が居るけど、電話では会える人が多いです。携帯は結婚している悪友とか女の友達とかには直接かかるので、スムーズにかかるというのは感じます。個人についてまわる物ということで、普通の電話とは違う感覚があります。

< パソコン >

○家の導入のきっかけは？

K - 自分で使うようになったのは、大学時代のアルバイト先で。家では今から4 , 5年前に知り合いからマックをもらったのがはじめです。それまでは姉のワープロを使ってました。友達の家でゲームをやって面白かったのと、ワープロが古かったので、それをアップグレードしたかったのだ。

J - 中2の時にゲーム用でJR - 100というのを買って、それから高校、大学、社会人とそれぞれ買い換えてました。最初は「ラジオの製作」とか見てておもしろそうだな、と思って。自分でまだプログラムを打つ時代で、ゲームがそれでできるのかな、と思って。後は大学が理工系だったのでそれで使ってましたが、ゲームはやらなくなりました。

T - 92年に会社に入って始めてパソコンを使いました。自分でもったのが95年で、会社である程度の作業をしていたので、いい機械を買おうと。一昨年結婚して自分の家にもう1台ということで買いました。最初は会社で電子メールをやっていたので、それに使いたかったのと、実家が会社をやっていて、それを手伝うときに表計算などができるというのがありましたので。電子メールをやり始めると、それが友達とのコミュニケーションになってきたので、それが大きかったです。

○パソコンの日常の使い方は？

K - 2日に1回くらい1時間から2時間くらいで、ゲームとインターネット関係です。メールはだいたい毎日30分くらい見えています。ほとんど仲間内で、昼間連絡のつかない人間とやります。1日3通から5通の間くらいです。インターネットでは車が好きなので、そういった趣味的な情報が多いで

す。あとは雑誌関係ですね。個人の掲示板とかにはあまりアクセスしないですね。ゲームは簡単なものを子供とやったりしてます。

J - 毎日30分から1時間くらいで、使うのはメールのチェックだけですね。あとはプライベートな文書を作るときぐらいです。メールはメールマガジンをいくつかとっているの、それが1日2, 3通、あとは友達から2, 3通くらいといったところです。ここ6年くらいはそれで、インターネットも会社で見てしまうので。占いとか、ハーモニカが好きなのでその情報とか、遊びで見えます。昔はちょっとチャットをやってましたが、お金がかかるのでやめました。

T - 私もメールのチェックで必ず1日1回はつけます。あとはちょっと仕事を持ちかえる場合もあるので、それで1, 2時間くらいは使います。趣味の部分としてはインターネットと、ニフティにも個人的にはいっているの、趣味の会議室をのぞくというのはやってます。それもパソコンを立ちあげたらだいたい1回はみます。バスケットが好きなので、そのフォーラムが充実しているの。情報が多いので、雑誌を買う気がなくなるんですよ。昔は趣味の雑誌を買ってたんですが、そういう編集者の人もいろいろ書いてたりするので。書き込みはたまにしますが、ほとんど見るだけですね。インターネットは会社ですと官公庁のホームページを仕事でよく見えています。家ではやはりバスケットが多いです。

○家族関係の変化はありますか？

K - 時間的なものでいうと、みんな夜まで起きている時間が長くなりましたね。子供と話す時間とかも、密度も増したような感じがしますね。子供はゲームは自分でできますし、週4回くらいはやってます。リビングの端において、家内と一緒にやったりもします。家内は会社の仕事が残るとそれで使うという感じで、趣味もないのでそれに使うこともありません。インターネットもぼくがつけると一緒にみえますが、自分では使わないみたいです。パソコン＝仕事というイメージがあってあまりさわりたいがらないようですね。

J - 中学からずっとあるので、どう変わったかよくわからないのですが。昔からずっと自分の部屋においてあって、自分以外は誰もできないから、誰もやらないし。たまに弟がワープロを使わせてもらいに来るけど、結局はできませんし。うちはメシを食べる以外あんまり集まらないから。あとは部屋に行ってしまうという感じです。パソコンのことを家族に言っても何も通じませんし。

T - 今の家だとお互いにそれぞれのメールをチェックするぐらいで、共通の話題になるのは妻が絵をパソコンで描いたりするので、それを見たりはしますが。あまりパソコンを通して話をするということはないですね。妻は会社の仕事では使っていて、パッケージデザインとかやっていて、その延長で絵を描きたいということで使っているみたいです。インターネットはやってないみたいです。会話が減るほどのめり込んでもやってないですね。実家との関係では弟や妹とかとメールをやっています。実家に入ったときは、家族も関心をもって、母親がゲームをしたりしてました。きょうだいもそれから2年くらいして自分のパソコンを買って部屋に置いたみたいです。実家のきょうだいとは、わざわざ電話しないことをメールで伝えたりすることはありますね。

○ パソコンで家族以外のコミュニケーションに変化はありましたか？

K - 今までは家にいると電話ができない、という感じだったのですが、メールがあると時間を気にしないでいいし、忘れにくいのでコミュニケーションが確実にになりましたね。時間がやりくりできるのは自分にとって一番いいですね。内容としては趣味的な話が多いので、その情報交換や相談をしたりしてます。学校の友達や車の店に出入りしている友達や会社の同僚といったのが仲間ですね。電話より垣根がなくてフランクに話ができますし。メールをやって、学校や会社でのつながりをもった人以外の、知り合いという関係が増えましたね。年賀状にアドレスがあって、それを見て月に1回くらいのやりとりをする人も20人くらいいます。メールだとやはりいままでよりもやりとりは増えますね。趣味の人とはドライブの待ち合わせをメールでやってます。

J - 考えると今のカノジョがメールで仲良くなった、というのはありますね。最初会って、メールアドレスを交換してそれから遊びに行ったり、という感じで、メールがなかったらどうなってましたかね。今でも毎日やりとりしてますし、電話も帰る時間がわからないのでしにくいんです。あと、学生時代の友人と飲み会の約束とかをしますね。みんな働いているとつかまりにくいですし。ふだん会えない人では、チャットで知り合った人で、3回くらいしか会ってないけどメールでは1年くらいやりとりしてます。いまは一人しかいませんが。最初はメールのアドレスを教えるのは抵抗がありましたね。男女の違いもわからないですし。チャットは時間かかるし、1ヶ月くらいで飽きちゃいましたけど。

T - 連絡がとりやすい、というのはあります。大学時代の友人とバスケットをやっているのですが、前は電話で連絡してたのですが、それをメールをやってかなり変わりました。メーリングリストで1回でできるようになりましたし。地方にいる人もその情報に合わせて参加できるし、そういう情報は地方にいたらわざわざ伝えませんし。逆にデメリットとしては、待ち合わせとかを話し合いで決めると、何回もやりとりしないといけないので、中味として向き不向きはあると思います。こういうことがあった、ということを双方でちょっとやりとりすることはありますが。趣味の情報はこれを伝えたら面白いな、という人にはメールを出したりしてます。電話ではわざわざ言うことでないことも、最初のうちは出していました。ただ、量が増えてくると煩雑になって、やるべき方を優先する感じになってきます。面識のない人とやりとりをするのは個人的には考えにくいですね。フォーラムだと不特定多数になって、この人だけという感じで選ぶことができないのでそれが抵抗感になりますね。